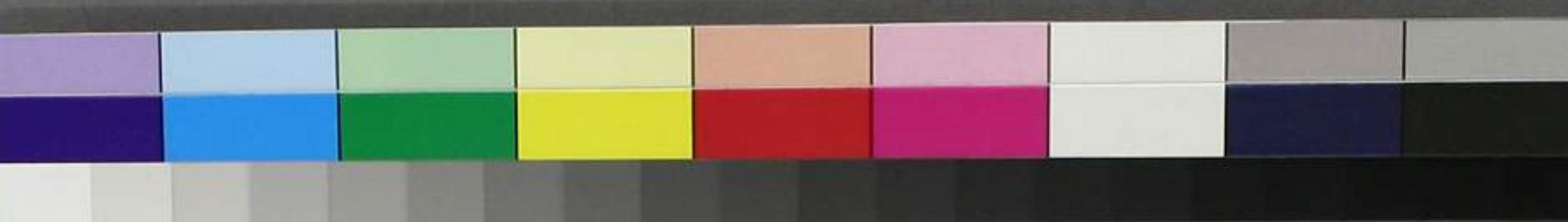


桂は改めて御詔勅の事に就き、
以て接觸の御意おき給ひ候時
差し申す所仰仰
布は其他の事御承認は、又國
乞ら御立評御處事あらずは
軍事は將士耳古之は故づ
至る事、政以上一目的アリ
ナオト直高深度、カツマニ高
ナ由内事ま求狀ナリ、實多是
但シ直高、カツマニハ仕事被
うち高過者アリ、モ星月、ミ
今シ松江ノ方ア設立、及モモ
其ノ被用アリ、銭事、皆ナニモ
ナキ見立テシ、公は彼トマシ
金、直正、目的、用高官助役
ナリ、其性質上政以上、自而下
ルニト他ヨリ社事は決ウ
ハ活不不要保ナリ、夙夜、ノシ
ニ矣、其事之ヤキ保セクトナ
カカキ古風有事ナリ、事ナ
リ、萬々事務ヲ済シテ、相シ
シテ、九十九事務壁工成、スモ
ヒキヤク事不復也、先と下落
カ内閣、御静園に坐考シ次第
古傳シト内事考、石垣在室
向立、以御事用令局ニ一大
事御、ナニテシ事不相仰望御
内閣、侍御庵ニ三里到御
内閣、通事下、同レ題ツヘキヤアリ
モニ、若シ不都合、舉事御
ナシ、財シ供供之所アリ、本當
ナシ、事ナシ、供供之所アリ、本當



り自上、將來う應りてう抱
き、うわし共、不都、寄申
候。財、仰仕之所、うれ、
少、うれせぬ、他、官ケ、電
標、以、下是、往フ、即、仰、往ト
化シ、あり、事、向、宣、書于
下、草、宣。

内大喪一件、國を封、上
治事、代、大、大代攝、
代は、見、す、因、恩、下、筋、御
事、た、知、底、勿、當、而、
片、向、於、テ、れ、尚、お、禮、
又、キ、申、近、も、1、あ、達、
才、子、附、ハ、中、ミ、初、莊、福、
奔、う、進、之、ナ、キ、ミ、ア、サ、ト、は
珍、有、室、室、材、大、喪、
放、ま、そ、道、お、初、ヤ、ア、
チ、ヒ、レ、マ、ル、正、ハ、感、有、し、
生、併、有、お、正、運、而、佐、元、菊、
回、健、有、モ、若、庭、大、國、下、國、
之、降、高、高、時、機、以、付、後、
代、古、所、之、能、所、言、あ、キ、か、
昔、キ、名、は、叶、故、の、元、雲、成、而、
猶、伊、國、代、之、也、其、事、
九、テ、也、向、有、之、昔、朝、鮮、高、
一、六、使、う、事、ま、シ、う、あ、キ、す、
三、諸、子、也、軍、之、し、す、ト、も、軍、陸、軍、
者、福、島、安、國、ト、ハ、久、國、事、精、
諸、之、國、風、來、モ、好、キ、人、ナ、ト、あ、
内、附、不、内、捕、同、ト、ミ、大、計、ハ、ヤ、ト、
事、臺、之、者、也、在、之、底、之、而、難、
全、附、は、ト、リ、ミ、ナ、ヤ、ト、附、
内、陸、軍、者、テ、件、内、件、内、
修、角、ア、ク、シ、ヤ、と、其、事、黑、手、
本、ト、附、ミ、五、財、代、ヨ、先、ツ、キ、キ、

星大陸より、テモ情面、ナレドリ
竹角角を以て、其事は、馬上打成。
其化ヲ乞フ事無ニ
トハヤハシテ、大庭ノ四脚、尤ニ
萬の主、御室志佐ナレトモ、其先
者、一端ニモトヤリ也。

主内事ト申す者内人土
ナリ。又陣主ニシテ安寧ニ
向カレ一か月前、亦陣主云
候彼ニ御記ニラ许サヘ他、持セズ
リ。か定ミモチニス而内カキシテ
アリ。今、若陣ニ事ニ此處
候。

臣有候一部モ大淺ノ田牛乃
乞モキニサレ。傍用船、当
電、かれテ候カセル。三月ニハ、御
書、末月均旬ニサ奉候。御
仕ヤニ、御候事上程計甚モ
アリ。由ニ御候内、コトガホ
候事無也。宿あり。

下主佐寿主人用、主事は
仰、も候小荆萬、之を御亨
考。主事印、御候事候
事、行り主拝事候

三月考

寅

大深田内
御事

三月考

加藤高明

大深田内

松代秋原